

2020年度日本建築学会都市計画部門オーガナイズドセッション研究交流会



「都市・地域のサステナビリティを高めるための大学キャンパスの活用方策」

プログラム案（キャンパス・リビングラボラトリ小委員会）13題、5セッション、2020.09.09.Wed. 13:30~17:15

1題=16分（発表10分、質疑討論6分。質疑討論はセッションごとにまとめるが、司会判断で個別に質疑討論としてもよい。）

の番号は、4/23時点の都計OSリストの番号

セッション(1) 都市とリビングラボラトリ 13:30~14:18 (48分)

司会・副司会=吉岡聡司（大阪大学）・池内祥見（大阪大学）

学術研究都市構築のための情報共有システム	有馬隆文（佐賀大）・坂井猛・Divigalpitiya Prasanna・郝訳然
スマートシティ構築の実験場としての大学キャンパス活用に関する考察 九州大学伊都キャンパスにおけるAI運行バスの連携手法	坂井猛（九州大）・安浦寛人・山王孝尚・郝訳然
工学における産学官連携に資する大学の施設マネジメントに関する報告 大阪大学大学院工学研究科を事例として	若本和仁（大阪大）

セッション(2) 大学キャンパスと都市における立地 14:21~15:09 (48分)

司会・副司会=安森亮雄（千葉大学）・土田寛（東京電機大学）

Evolution of campus-city relationship: The typology of planning in six Ethiopian campuses	Tinbete Alemayehu（Tokyo Institute of Technology）・Naoko Saio
首都圏私立大学キャンパスの都心回帰動向の実態 一移転先及び移転元・撤退跡地の空間変容分析一	角田将吾（東京工業大）・斎尾直子
都市空間の転用による大学キャンパス整備の傾向と実態	三井健吾（東京工業大）・斎尾直子

セッション(3) キャンパス空間の認識や評価 15:12~16:00 (48分)

司会・副司会=斎尾直子（東京工業大学）・三井健吾（東京工業大学）

大学研究施設におけるテリトリー意識と打ち合わせ場所選択の関連性	樋口圭太（JR東海コンサルタンツ）・太幡英亮
大学キャンパスを象徴する空間・要素に関する研究	若林萌（ミサワリフォーム）・土田寛・小西千秋・斎藤裕紀
サステナブルキャンパス評価システムに関する研究 その12 サステナブルキャンパス評価システム（ASSC）認証とSDGsの相関性	小篠隆生（北海道大）

セッション(4) 学生の居場所や福利厚生 16:03~16:35 (32分)

司会・副司会=小貫勅子（東北大学）・薬袋奈美子（日本女子大学）

大学キャンパスとその近隣における学生参加の居場所づくり 一地域素材・家具・空き家の実践を通して一	安森亮雄（千葉大）・小林基澄・松本大知・岩淵達朗
大学キャンパスの福利厚生施設と課外活動施設にかかる再編構想の立案 大阪大学の3キャンパスを事例として	吉岡聡司（大阪大）・池内祥見

セッション(5) 学生寮の計画 16:38~17:10 (32分)

司会・副司会=小篠隆生（北海道大学）・吉岡聡司（大阪大学）

大学学生寮におけるPFI事業に関する考察	小貫勅子（東北大）
昭和初期頃に建設された女子寮の建築計画に関する研究 一『住宅改善の方針』に基づく考察一	石田雅美（日本女子大）・関村啓太・薬袋奈美子

2020年度日本建築学会都市計画部門オーガナイズドセッション研究交流会
 観光に都市計画やまちづくりが貢献できること（持続可能な観光地形成小委員会主催）



9/9（水）実施
 発表10分＋質疑6分

第1セッション		司会：永瀬節治（和歌山大学）	主著者	共著者
9:30-9:46	7350	持続可能な地域づくりを推進するための公学民連携によるボトムアッププロセスのあり方 糸魚川ユネスコ世界ジオパークを事例として	○石川宏之	
9:46-10:02	7351	都市計画法第34条に基づく市街化調整区域における観光開発に関する研究：都道府県指針を対象として	○西川亮	
10:02-10:18	7356	海浜観光地における津波防災地域づくりに関する計画策定とその実行に観光事業者が果たす役割 伊豆市『観光防災まちづくり推進計画』を事例に	○手代木茜	岡村祐
(休憩12分)				
第2セッション		司会：永野聡（立命館大学）	主著者	共著者
10:30-10:46	7360	Wi-Fiパケットセンサを用いた横浜赤レンガ倉庫における観光客移動特性の初期調査	○白林	卯月盛夫
10:46-11:02	7354	「農泊」地域における「地域アイデンティティ」の担保と利益還元に関する一考察 - 岐阜県中津川市加子母地区を対象として -	○佐藤彩生	
11:02-11:18	7355	文化・芸術資源の価値保全に配慮した観光活用の準備のための「観光まちづくりオーラルヒストリー」調査 - 山口県長門湯本温泉に隣接する萩焼深川窯集落における調査からの考察 -	○石井萌美	青木卓也・川原晋
11:18-11:34	7357	商店街をユニークベニューとするための開催要件に関する研究 - MICEレセプション会場としての継続開催に着目して -	小澤真里奈	○川原晋
(休憩16分)				
第3セッション		司会：佐野浩祥（東洋大学）	主著者	共著者
11:50-12:06	7358	大分県別府市における民泊施設の立地傾向と運営形態の実態 - 地方都市における民泊施設を介した施設間連携の可能性 その1 -	○指方綾乃	姫野由香・宮下達平
12:06-12:22	7359	大分県別府市に立地する民泊施設の機能補完と地域内連携の実態 - 地方都市における民泊施設を介した施設間連携の可能性 その2 -	○姫野由香	指方綾乃・宮下達平
12:22-12:38	7352	京都市中心部の簡易宿所型ジェントリフィケーションに対する居住者評価 京都市下京区修徳学区を事例として	○加登遼	
12:38-12:54	7353	京都市における簡易宿所の立地と廃業宿泊施設の実態について	○川井千敬	阿部大輔

○印が発表者

No.	担当小委員会	発表者	共著者	題目	勤務先・機関名
c-1	拠点デザイン	岩永匠	浅野純一郎・辛島一樹	豊川市における立地適正化計画の導入効果に関する研究	豊橋技術科学大学
c-2	拠点デザイン	上木翔太	瀬戸口剛・宮内孝・佐藤愛美・佐野健太	立地適正化計画に向けた維持管理費用に基づく公共施設再編手法ー北海道夕張市における集約型コンパクトシティ研究ー	北海道大学
c-3	拠点デザイン	佐藤愛美	瀬戸口剛・宮内孝・佐野健太・上木翔太	立地適正化計画に向けた公営住宅集約化による市街地再編効果 北海道夕張市における都市再編研究 その22	北海道建設部
c-4	拠点デザイン	倉知徹		地方都市中心市街地の復興公営住宅におけるコミュニティの形成と変遷 -柏崎市市営駅前住宅の場合-	新潟工科大学
c-5	拠点デザイン	伊阪遼	太幡英亮	職住混合地でのエリアリノベーションにおける空間変容と地価変遷の関係性 一名古屋那古野地区と東京馬喰町・東神田地区を対象としてー	株式会社 三菱地所設計
c-6	拠点デザイン	樋口秀	黒木宏一・倉知徹	地方都市における密集市街地解消によるまちなか居住の実現に向けた取り組みと課題ー富山県射水市放生津地区に着目してー	新潟工科大学
c-7	拠点デザイン	加野和奏	瀬戸口剛・渡部典大・尾門あいり	集約型都市形成に向けた公民連携型住宅の計画手法 -コンパクトシティ計画研究 その3-	北海道大学工学部環境社会工学科建築都市コース
c-8	拠点デザイン	有賀拓	浅野純一郎	田原市のサーフタウン構想と移住の実態に関する研究	豊橋技術科学大学
c-9	都市構造	柴田樹人	恒川和久	都市的用地と自然地形の関連性からみた土地利用の変遷に関する研究-愛知県一宮市を対象として-	大林組
c-10	都市構造	萩原綾	鶴心治・小林剛士・宋俊煥・白石レイ	市街化区域内の農地転用の影響要因と開発ポテンシャルに関する研究	山口大学
c-11	都市構造	丸岡陽	松川寿也・中出文平	市街地形成時期からみた地方都市の自家用車利用率の地域差に関する一考察 ー新潟県長岡市と長野県松本市を対象としてー	長岡技術科学大学大学院
c-12	都市構造	吉田隼斗	岡井有佳	京都府舞鶴市のコンパクトシティ形成に向けた逆線引きの運用に関する研究	国土交通省 関東地方整備局 利根川上流河川事務所
c-13	都市構造	松村叡英	野澤康・星卓志	居住誘導区域外における地域公共交通のあり方に関する研究 ー地域公共交通網形成計画の分析を通してー	工学院大学建築学部
c-14	都市構造	佐野健太	瀬戸口剛・宮内孝・佐藤愛美・上木翔太	立地適正化計画に向けた居住誘導区域の設定に伴うインフラ縮減効果 ー北海道夕張市における集約型コンパクトシティ研究 その23ー	小田急電鉄株式会社
c-15	都市構造	大塚佳祐	星卓志・野澤康	非線引き都市における立地適正化計画の活用によるスプロールの抑制可能性と課題に関する研究	工学院大学 建築学部
c-16	都市構造	吉田雪乃	鶴心治・小林剛士・宋俊煥	県境を跨いだ広域都市圏における集約型都市構造モデルの構築に関する研究	山口大学大学院 創成科学研究科
c-17	拠点デザイン	清水千江	佐藤雄哉	昭和期に公的主体が開発した住宅団地内にある複合公共施設の実態に関する研究	豊田工業高等専門学校
c-18	拠点デザイン	山本紘子	佐藤雄哉	小さな拠点形成事業と自治体の空間計画の関係性に関する研究	豊田工業高等専門学校
c-19	都市構造	石崎晴也	佐藤雄哉	都市計画区域外の都市的土地利用に対する土地利用管理手法に関する研究	豊田工業高等専門学校

9/8 (火)AM	9/8 (火)PM	9/9 (水)AM	9/9 (水)PM	9/10 (木)PM
session1				
session1				
session1				
session1				
session2				
session2				
session2				
session2				
session3				
session3				
session3				
session3				
session4				
session4				
session4				
session4				
session5				
session5				
session5				

開始時間	終了時間	司会 1	
9:30	9:46		
9:46	10:02		
10:02	10:18	樋口秀	
10:18	10:34		
10:50	11:06		
11:06	11:22	松浦健治郎	
11:22	11:38		
11:38	11:54		
休憩			
13:30	13:46		
13:46	14:02		
14:02	14:18	姥浦道生	
14:18	14:34		
14:50	15:06		
15:06	15:22	原田 陽子	
15:22	15:38		
15:38	15:54		
13:30	13:46		
13:46	14:02	樋口秀	
14:02	14:18		



「空き地の都市計画にむけて」

都市の空き地とは不確定な将来に対応するための動的な計画要素である。都市に常態化する空き地を都市のための資源として利用、計画するにはどうすればよいか。公共的な利用を促す社会実験やプレイスメイキング、ランドケアやアダプト制度など空き地マネジメント、都市の持続可能性やレジリエンスを高めるグリーンインフラの計画など。本OSでは空き地を資源とする利用、マネジメント、計画などに関する発表を募集し、活発な議論を行いたい。

概要

主催：空地アーバニズム戦略小委員会（日本建築学会都市計画委員会）

日時：9月8日(火) 13:30～14:50（予定）

発表会場：Zoom会議室（参加予定者には後日URLを案内）

当日資料：PDF版を配付予定（プログラム＋発表梗概）

司会：矢吹剣一／神戸芸術工科大学

記録：遠藤新／工学院大学

タイムキーパー：蕭閔偉／大阪市立大学

まとめ：阿部俊彦／立命館大学

タイムテーブル

13:30 空地アーバニズム戦略小委員会の紹介、趣旨説明（小委員会主査・遠藤／工学院大学）

13:35 発表1（本人発表10分、質疑応答6分、入れ替え1分、以下同様）

13:52 発表2

14:09 発表3

14:26 発表4

14:43 まとめ

14:50 終了予定

発表題目・発表者

	発表題目	発表者
発表1	公共空間の日常利用の普及に関する研究 －福岡市都心部を事例として－	北島咲（工学院大） ・星卓志
発表2	都市再生特別措置法における道路占用許可特例制度の活用と評価の実態 ～アクティビティ調査の活用に向けて～	木元勇武（工学院大） ・遠藤新
発表3	事業残地等の有効活用に向けた現状と課題に関する基礎的研究（その1） ～川崎市における事業残地の空間実態～	眞木励（工学院大） ・草野壺成・遠藤新
発表4	事業残地等の有効活用に向けた現状と課題に関する基礎的研究（その2） 川崎市における事業残地の空き地化の実態	草野壺成（工学院大） ・眞木励・遠藤新

研究交流会発表要領

以下の通り発表要領を定めます。ご確認ください。

1. 代理講演は認められていません。
2. 講演時間は本人発表・質疑討論を入れて1題16分です。質疑討論を十分に行えるよう、発表時間は厳守願います。
3. 発表者はzoomの画面共有機能を用いて資料提示のうえ発表を御願います。